

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	後期高齢者あんま・マッサージ等助成事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	横山 友二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者及び65歳以上の障害認定者	意図	被保険者で末しょう神経疾患または運動器疾患の自覚症状をもつ方の費用負担の軽減、健康の維持増進、疾病予防のため。
事業内容	後期高齢者医療制度被保険者があんま・マッサージ等の施術を受ける際、年間最大24枚の利用補助券（1枚500円）を発行し、被保険者の健康の保持増進を図るもの。			
事業開始から現在までの状況変化	対象である被保険者数は年々増加しているが、利用対象が末しょう神経疾患または運動器疾患の自覚症状をもつ方であることから、助成券の年間利用枚数は4,000～5,000枚前後で推移している。指定施設を増設し、助成券を利用して施術の受けられる環境の整備を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① あんま・マッサージ等利用助成請求額	2,549,500	2,254,000	2,312,000	円	↑↑↑	助成単価（500円）×利用枚数
	② あんま・マッサージ等利用助成券数	5,099	4,508	4,624	件	↑↑↑	助成件数
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	被保険者の健康の保持増進が図られ、医療費の適正化が期待できる。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 被保険者の費用負担軽減、健康保持増進の一助となっており、国民健康保険において行っている「あんま・マッサージ等利用助成事業」と同様のサービスを行うもので、今後も継続して行うべき事業と考える。 また、千葉県後期高齢者医療広域連合の長寿・健康増進事業補助金交付対象となっている。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,008,845	4,782,769	6,877,471			
事業費(b)(円)		2,853,835	2,645,469	2,413,871			
うち一般財源		1,202,511	1,214,516	1,029,739			
職員給与費(c)(円)		2,155,010	2,137,300	4,463,600			
人役・職員(人)		0.23	0.23	0.52			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	被保険者の健康保持増進のため、継続したホームページや広報紙等を利用した周知及び助成対象施設の増設による利用しやすい環境の整備により利用率の向上を図る。	③取組の課題	国民健康保険で同様にあんま等の助成事業を展開している国保年金課とともに新規助成対象施設の開拓及び事業の周知に取り組んでいきたい。
②今年度(H27)に実施した取組	広報紙やホームページを活用し、事業の周知を行った。助成券の発行等をシステム管理するための環境を整備した。	④今後の改善計画	施設から新規の指定登録申請があった場合は、国民健康保険と後期高齢者医療双方で指定し増設を図れるよう連携を図る。